

# 医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	臨床因子を用いた間質性肺炎の予後および急性増悪の予測スコア開発
研究責任者	浜松医科大学 医学部 内科学第二講座 須田隆文
研究実施体制	研究責任施設： 浜松医科大学 医学部 内科学第二講座 須田 隆文 共同研究施設： 聖隷三方原病院 呼吸器内科部長 横村光司 聖隷浜松病院 副院長 中村秀範
研究期間	臨床研究審査委員会承認後 ～ 2025 年 8 月
対象者	2001 年 1 月から 2019 年 12 月までに当院あるいは共同研究機関に受診歴のある間質性肺炎患者
研究の意義・目的	間質性肺炎とは肺の間質に炎症や線維化病変を来す疾患の総称です。間質性肺炎には様々な病型に分類されますが、その進行経過は heterogeneous であり予後予測は困難です。多くの患者では、呼吸機能の悪化は年単位で徐々に進行する一方で進行が遅く極めて安定している患者から急速に悪化する患者まで多様です。特に急性増悪については間質性肺炎患者の死因の多数を占めており、間質性肺炎患者管理において急性増悪に対処することは非常に重要となります。しかしながら、急性増悪がどのような患者に起こりやすいかの検討については限られているのが現状です。そこで我々は、間質性肺炎患者における予後や急性増悪発症に関連する臨床データを同定し、それらを用いた新たな予測スコアの開発を目指し、本研究を計画しました。
研究の方法	研究デザイン 多施設共同研究の後ろ向き観察研究 方法 間質性肺炎患者の初診時臨床データおよび臨床経過について調査し、以下について評価・解析する。 (1)全生存期間のリスク因子 (2)急性増悪累積発症率のリスク因子 (3)予測スコア
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。

資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 呼吸器内科 (氏名) 河野 雅人 TEL:053-474-2222(代表) 呼吸器内科外来 9:00~17:00 平日